

名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間)の都市計画の案を作成するための基本方針(案)及び環境影響評価方法書に関する説明会

1 とき 令和8年1月25日(日)午前10時00分から午前11時00分まで

2 ところ アグピアホール

3 来場者 31名

4 出席者 愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課

愛知県 建設局 道路建設課

阿久比町 建設経済部 まちづくり推進課

5 内容

1)挨拶

2)名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間)の都市計画と環境影響評価について

3)都市計画の案を作成するための基本方針(案)について

4)環境影響評価方法書について

5)質疑応答

【質疑応答要旨】

質問等要旨	回答要旨
本道路の総予算と、完成までの期間を教えてほしい。	現在は都市計画および環境影響評価の手続中であり、この手続にあと数年かかる見込みです。その後の工事期間については、事業化の段階以降でお示しすることになるため、現時点では申し上げることができません。 構想段階評価において、事業費は約3,100億～3,700億円と見込んでおります。ただし、ルートや構造が未確定なため、その時点での概略の数字となります。
道路の構造は、盛土になるのか、切土になるのか、あるいは高架(橋梁)になるのか。それは、いつ頃決まるのか。	本説明会でのご意見を踏まえ、都市計画の案を作成するための基本方針を決定した後、次の都市計画素案の作成の段階で、より詳細なルートや構造を提示する予定です。構造の決め方については、コスト面に加え、盛土による地域の分断を避けるといった観点等も踏まえ、今後検討してまいります。

<p>自然環境、景観、道路照明による農作物への影響に配慮してほしい。</p> <p>また、並行する西尾知多線(阿久比インターチェンジ付近)の渋滞が深刻である。名古屋三河道路の完成に合わせ、この区間を4車線化してほしい。</p>	<p>自然環境等への配慮は、ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>本道路が開通することで、並行する一般道の交通量が、本道路へ転換する効果が期待できます。(主要地方道)西尾知多線の当該区間は、現在は2車線の都市計画道路となっておりますが、インターチェンジが接続する一般道への影響を今後予測し、必要に応じて、本道路の計画とあわせて都市計画変更も検討します。</p>
<p>都市計画・環境影響評価手続のスケジュールの完了目標が知りたい。</p>	<p>今後、皆様のご意見を丁寧に検討していく必要があるため、現時点では、明確な目標はお示しできません。都市計画手続だけでも、複数年かかる見込みです。</p> <p>本道路に対する皆様からの期待を感じておりますので、丁寧に、かつ可能な限り速やかに手続を進めてまいります。</p>
<p>設計速度 100km の道路となると実質的に高速道路を想像するが、阿久比インターチェンジ付近のインターチェンジの計画は、このルート帯の中でランプウェイなどの設備が収まるのか。</p> <p>また、インターチェンジができることで、接続する周辺道路の交通量が増えると思うが、考慮されるのか。</p>	<p>詳細なルートやランプウェイなどの構造は、今後検討いたします。</p> <p>また、インターチェンジの接続により一般道の交通量が増える可能性があるため、今後行う交通量の検討により、インターチェンジが接続する一般道への影響も予測し、右折帯の設置や改良が必要と判断された場合は、本道路の計画とあわせて周辺道路の都市計画変更も検討します。</p>

(説明会配布資料)

- ・名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間) 都市計画の案を作成するための基本方針(案)
- ・名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間) 環境影響評価方法書のあらまし